



特 集

# 放課後児童クラブ

— 心も体もいきいき育て！放課後のチカラ —





●お母さんにインタビュー（放課後児童クラブを利用して、今の気持ち）



鈴木 直美さん  
池下裏

◎思いやりの気持ちが育っています

学校が終わる時間によっては、長い時間子どもだけで放課後を過ごさなければならぬため、放課後児童クラブがあることで、子どもたちを不安にさせることなく子育てができ、助かっています。また、児童クラブの先生と子どものお話をできるのもいいです。児童クラブでは様々

な学年の子どもたちと遊ぶからか、子どもの世界が広がり、下級生など周りを思いやる気持ちが育っていると感じます。初めて利用する方は一度見学するのもいいと思います。施設が古いので、今後新しくなることを期待しながら、これからも利用していきたいと思っています。

- Q** どの程度働いていれば利用できるの？
- A** 平日午後1時以降かつ週3日以上就労していることが要件になります。
- Q** 何時まで利用できるの？
- A** 通常の登校日は放課後から午後7時まで、休校日は午前7時30分から午後7時までの間で、保護者の就労などが終わるまでになります。
- Q** 保護者の就労、出産、入院・疾病、障がい、別居親族の介護などで、児童の放課後が留守家庭となってしまう場合に利用できます。
- Q** 保育者などが在宅されている場合は利用できません。また、保護者には父母のほか同居または同一敷地内に居住する65歳未満の祖父母も含まれます。
- Q** どういった場合に利用できるの？
- A** 児童クラブに関するよくある質問にお答えします。
- Q** お休みの日はいつ？
- A** 日曜日、祝日、年末年始がお休みです。  
※都合により臨時休会する場合があります。
- Q** お金はかかるの？
- A** 平成28年度までは保育料は無料でしたが、平成29年度からは保育料を月3千円（多子世帯の減額あり）、けがをした際の保険料を年2千円負担していただきます。その他、児童クラブごとに保護者会費やおやつ代が掛かる場合があります。
- Q** どうやって申し込むの？
- A** 入会申込書と必要書類（就労証明書など）を提出していただきます。  
※詳しくは7ページの平成29年度入会案内をご覧ください。
- Q** 申し込みれば必ず入会できるの？
- A** 定員を超えて申し込みがあった際には、入会できない場合があります。

心も体もいきいき育て！放課後のチカラ

放課後児童クラブってどんなところ？

放課後、帰宅しても家族が仕事などで誰もいない。放課後児童クラブは、そんな子どもたちに「生活」と「遊び」の場を提供しています。今月号では、放課後児童クラブで子どもたちがどのように過ごしているのか。また、周りの大人たちはどんな思いで子どもたちを見守っているのかを紹介します。



1. 真剣な表情で友達と一緒に宿題をする様子 2. 先生の紙芝居に聞き入る子どもたち 3. 校庭でのびのびと遊ぶ子どもたち

放課後や学校の休校日に開いている放課後児童クラブ。本市の現状をお伝えします。

**放課後児童クラブとは**

就労等により昼間、家庭に保護者がいない子どもたちは、放課後や夏休みなどの長期休暇の間、子どもだけで過ごすこととなります。そこで、このような子どもたちに、生活や遊びの場を提供し、子どもたちの健全な育成を図るため放課後児童クラブ（以下「児童クラブ」）を開設しています。

**児童クラブの現状**

市内には、市で運営している児童クラブが16か所、民間運営の児童クラブが1か所あり、全ての小学校校区に設置されています。小学校の空き教室や敷地内の専用施設、小学校付近の公共施設などが、活動の場所になっています。

登録者数は、平成26年度591人、平成27年度には対象児童の範囲を拡充したこともあり893人、平成28年度では943人（9月現在）と、年々増加しています。

◎児童クラブは人間関係を学ぶ場所

白一小児童クラブは昨年の4月より100人の大所帯となり、日々ぎやかに過ごしています。子どもたちは外遊びが大好きで、宿題を終えると暑くても寒くても、元気よく外へ飛び出して、思い思いの遊びを楽しんでいます。ここ数年は心も育てたいと、本格的な人形劇を鑑賞したり、お話し会を開いたりしています。職員は、子どもたちが日々安心・安全に過ごすことはもちろんのこと、大人の言葉がきちんと理解できるようになっている今の時期に、良くない事をしてしまった時の「ごめんなさい」を「心を入れた本当のごめん

なさい」と言えるようにして、大きくなった時、礼儀正しい思いやりのある人になるための、根っこの部分を育てる事ができたらと考えています。私たちは子どもたちを保護者の方と一緒に見つめ、育てたいと思っています。職員一同「児童クラブは人間関係を学ぶ場所」を合言葉に、日々のささいな出来事を通して、泣いたり笑ったりして「心も育て！」と願いつつ、子どもたちと一緒に遊び、たくさん話をして、大人になるために大切な事を伝えていきたいと思っています。



白一小児童クラブ  
おかだ けいこ  
岡田 恵子先生

19時まで ◆◆◆◆◆ 16時～降会まで ◆◆◆◆◆ 15～16時 ◆◆◆◆◆ 15時 ◆◆◆◆◆



順次降会

保護者の方が迎えに来ると、先生が児童に声を掛け、帰る準備をします。子どもたちは順次「さようなら」の挨拶をして帰っていきます。

自由遊び

児童クラブの友達と、外でのびのびと遊んだり、施設内で本を読んだりしています。雨の日は紙芝居やDVDをみんなで見て、過ごします。

宿題

みんな自主的に机に向かい宿題に取り組みます。わからないところがあると、近くの上級生や友達と協力しながら勉強します。

迎え入れ

15時から順次、下校する児童を先生が笑顔で迎え入れます。子どもたちは「ただいま！」と元気よくやってきます。



**児童クラブの一日（登校日）**  
白一小児童クラブ取材しました。  
（内容はクラブや年齢によって異なります）



◎放課後児童クラブ入会案内 ー平成29年度ー

▶受付期間  
12月1日(木)～12月22日(木)

▶対象児童  
保護者の就労等により、放課後家庭が留守になる小学生の児童  
※保護者には、父母のほか、同居または同一敷地内に居住する65歳未満の祖父母も含まれます。

▶申し込みに必要な書類  
①児童クラブ入会申込書  
②放課後留守家庭であることを証明する書類(保護者全員分)

入会理由	必要書類	入会できる期間
就労のため	就労証明書	就労期間中
出産のため	理由書、母子健康手帳の写し	出産予定日の前6週間 および出産後8週間
入院のため	理由書、入院期間の分かる医師の診断書など	入院期間中
疾病または負傷のため	理由書、児童の保育が困難であることを証明する医師の診断書	その期間
障がいのため	理由書、身体障害者手帳などの写し	その期間
別居親族の介護のため	理由書、要介護または要支援の認定を受けた介護保険被保険者証の写しなど	その期間

※申込用紙は、11月11日(金)より本庁舎こども育成課、各庁舎地域振興課および各児童クラブ(現在入会中の方に限る)で配布します。

▶申し込み・問い合わせ先  
本庁舎こども育成課 内2735・2736・2737  
各庁舎地域振興課/表郷☎③2114 大信☎④3976 東☎④2113

▶各小学校区の児童クラブ

小学校	児童クラブ
白一小	白河第一小学校児童クラブ
白二小	白河第二小学校児童クラブ
白三小	白河第三小学校児童クラブ
	にこにこ児童クラブ
みさか小	みさか小学校児童クラブ
白四小	おおぬま児童クラブ
白五小	しらさか児童クラブ
関辺小	関辺小学校児童クラブ
五箇小	五箇小学校児童クラブ
小田川小	こたがわ児童クラブ
表郷小	表郷小学校児童クラブ
信夫一小	信夫第一小学校児童クラブ
信夫二小	信夫第二小学校児童クラブ
大屋小	大屋小学校児童クラブ
釜子小	かまこ児童クラブ
小野田小	小野田小学校児童クラブ

◎子どもたちに多彩な居場所を!



こども未来室  
いのうえ けんじ 室長

放課後や学校が休みの日の貴重な時間、ただ預かるだけではなく、子どもたちがいかに有意義に過ごせるかが大切です。支援員の先生方は、宿題や遊びを通して子どもたちと向き合い、一人ひとりの思いを受け止め、健やかな成長を願いながら児童クラブの活動に取り組んでいます。施設の整備はもちろんですが、研修機会を増やすなど、先生のスキルアップを図り、より満足度の高い児童クラブを目指したいと思います。

子どもたちにとっては児童クラブ以外にもさまざまな居場所、例えば、学校の特設クラブやスポーツ少年団

など、複数の選択肢があることが望ましい環境だと思います。いくつかある活動の中から自分に合ったものを選び、そこでいろいろな人と触れ合い、学んだ経験は、将来子どもたちにとってかけがえのない財産になります。

市では、学校やNPOなどの団体と連携し、より多彩な活動の場を提供していきたいと考えています。

未来を担う子どもたちが、心身ともに健全に成長していけるよう地域の皆様のご理解とご協力をいただきながら、なお一層児童クラブの充実を目指していきます。

心も体もいきいき育て!放課後のチカラ

魅力的な居場所をつくる

児童クラブで過ごす放課後の時間、様々な経験を通し成長する子どもたち—  
その居場所となる児童クラブをもっと魅力的にするために、市では様々な環境改善を図っています。

安らげる場所を目指して  
単なる放課後の居場所をつくるのではなく、子どもたちが児童クラブの生活の中で社会性や人間性を身につけ、児童クラブに来た時の「ただいま」、帰る時の「さようなら」を笑顔で言えるような、安らげる場所を目指しています。そのために、市内で自主的に活動している各種団体・サークルの会員がボランティアで様々な体験活動を行う出前講座などを活用し、子どもの状況や発達段階に応じた活動を行い、放課後を楽しく生活できるように努めています。

児童クラブの拡充  
運営場所の確保や児童支援員の補充、さらには民間児童クラブの運営を推進することで、児童クラブの受け入れ体制の拡充を図り、待機児童の解消に努めます。



▲元気に児童クラブへやって来る子どもたち

書入れ替えを行い、子どもたちにいろいろな本を提供し、児童クラブへ通う子どもたちの心の成長を図っています。  
安全・安心な環境づくり  
子どもたちが安全・安心に児童クラブを利用できるとともに待機児童対策のため施設整備を進めています。  
今年度は、学校から離れた場所でも運営しているなどの理由から「おおぬま児童クラブ(白四小)」「しらさか児童クラブ(白五小)」「かまこ児童クラブ(釜子小)」の3施設を新たに学校の敷地内に建設しています。さらに、来年度は「関辺小学校児童クラブ」(関辺小)を建設する予定です。また、他の施設についても、子どもたちが生活しやすい環境を目指し、随時改善を図っていきます。

◎新しい児童クラブが年度内に完成します

児童の安全のため、学校から離れた場所にある児童クラブや環境改善が必要な児童クラブを新たに学校敷地内に建設しています。

《完成予想図》



▲おおぬま児童クラブ(白四小)  
校舎東側駐車場部分



▲しらさか児童クラブ(白五小)  
校舎西側校庭部分



▲かまこ児童クラブ(釜子小)  
校舎南東側進入口付近

